

会 議 録

会 議 の 名 称	三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた研究会（第3回）
開 催 日 時	令和4年10月28日（金） 開会時刻 午後2時00分 閉会時刻 午後3時20分
開 催 場 所	武蔵野総合体育館 大会議室
出 席 者 *はオンライン参加	研究会 構成員
	保田 暢彦 東日本旅客鉄道株式会社 八王子支社 三鷹駅 駅長
	古川 豪 関東バス株式会社 武蔵野営業所 所長
	信田 健一 関東バス株式会社 武蔵野営業所 副所長
	市川 篤 西武バス株式会社 上石神井営業所 副所長
	米本 草太 西武バス株式会社 滝山営業所 副所長
	千田 裕 一般社団法人 東京ハイヤー・タクシー協会 武三支部 顧問
	横山 美江 社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会 地域福祉推進係長
	早川 友紀 社会福祉法人 武蔵野 ワークセンター大地 施設長
	菅原 誠治 公益財団法人 武蔵野市子ども協会 事務局長
臺 孝之 三鷹駅北口商店会 会長	
羽鳥 光明 武蔵野市中央地区商店連合会 会長	
園部 一之 八丁商和会	
平田 淳一* 公益社団法人 武蔵野法人会 事務局長	
阪本 卷子* 公益社団法人 武蔵野法人会 課長	
	アドバイザー
	大沢 昌玄 日本大学 理工学部 土木工学科 教授
	オブザーバー
	警視庁 武蔵野警察署 交通課 武蔵野市 都市整備部 道路管理課 武蔵野市 都市整備部 交通企画課
議 題	1 はじめに 2 研究会（第2回）の振り返りについて 3 考え方4 沿道の街並み誘導と低利用地のまちづくりについて 4 報告書（素案）について 5 その他連絡事項
事 務 局	まちづくり推進課

発言者	発言の要旨
	<p>三鷹駅北口交通環境基本方針の策定に向けた研究会（第3回）</p> <p>1 はじめに ～事務局より挨拶～</p>
<p>A 構成員</p> <p>B 構成員</p>	<p>2 研究会（第2回）の振り返りについて ～事務局より、資料1及び前回構成員から質問のあった中野駅の事例を説明し、その後意見交換～</p> <p>研究会（第2回）の振り返り（考え方2駅前広場の2ロータリー化・考え方3駅前広場の拡張）について</p> <p>拡張の規模について、駅前広場に求められる機能をより多く満足できるように、広範囲の拡張を検討してもらいたい。また、拡張の方向性及び事業手法については、現状の土地利用の状況を踏まえると低利用地の占める割合が高い北東側エリアを、直接買収方式で進めることも妥当であると思う。</p> <p>駅前への通過交通を補助幹線道路に転換させるためには、補助幹線道路と中町新道との交差点の形状を工夫して改修してもらおうと良い。中町新道から補助幹線道路へ直進して通行できるようにすると、運転手が主たる道路は補助幹線道路であることを認識しやすくなると思う。</p> <p>駅前広場は拡張の方向で検討を進めてもらえると良い。拡張にあたっては、長期的視点から考え、人口の増加や高齢化の進展、自動運転技術や新たな移動手段の実用化、災害の激甚化等の不確実な将来の変化に備え、冗長性（余裕）を持たせることが重要である。</p>
<p>A 構成員</p> <p>C 構成員</p>	<p>3 考え方4 沿道の街並み誘導と低利用地のまちづくりについて ～事務局より、資料1を説明し、その後意見交換～</p> <p>考え方4 沿道の街並み誘導と低利用地のまちづくりについて</p> <p>沿道の街並み誘導にあたっては、画一的ではなく、通り毎の特性に応じた街並みが形成されると良い。例えば、かたらいの道は歩行者専用化、中町新道は一般車の駅へのアクセス路線化といった特性に合わせて誘導すると良い。また、行政には、誘導手法等の検討や沿道住民の合意形成に向けた必要な支援をしてもらいたい。</p> <p>コロナ禍による働き方改革の加速に伴い、三鷹駅北口に通勤する社員が減少し、街全体のにぎわいが大きく低下している。一方で、これまで都心等に通勤していた社員が在宅勤務で三鷹駅北口周辺にとどまっている。平日に父親と子どもが歩いている光景が当たり前になり、保育園や幼稚園も父親の送迎が非常に増えている。今後の街づくりの進め方次第で、こうした在宅者が三鷹駅北口で過ごす機会が増える可能性があるのではないかと。また、にぎわいを取り戻す観点からも、道路や駅前広場の再整備と併せて、居心地が良く歩きたくなる歩行環境の形成や回遊性の向上、駅前にふさわしい都市機能の誘導を図るべきである。</p> <p>駅周辺の低利用地のうち、西側エリアにおいては、にぎわいが乏しいことから、</p>

発言者	発言の要旨
	<p>民間開発の動向を捉え、駅前にふさわしい都市機能を積極的に誘導してもらいたい。民間開発にあたっては、周辺地域に与える影響を踏まえ、景観面の工夫や十分な空地の確保、学校等の公共施設に対する負担軽減、開発区域周辺のまちづくり等に配慮してもらいたい。また、働き方やライフスタイルの変化を踏まえ、働く場と衣食住が感じられるように、アイレベル（歩行者目線）の作りこみに配慮してもらえると良い。</p>
D構成員	<p>事例紹介にあった中野駅周辺は何もない土地であったからビルや歩道、車道、空地等の整備が可能であったのではないかと。建物が現存する中で、三鷹駅北口の駅前広場の将来イメージがつかめない。</p> <p>市の駐輪場である低利用地については、芝生の公園等に整備され、商店会のイベント等ができる空間になると良い。</p> <p>駅前広場の整備には地域の方々の協力が不可欠であるため、整備の具体的なイメージを出してもらえると良いのではないかと。</p>
E構成員	<p>駅周辺の低利用地のうち、現在駐輪場の市有地部分においては、自転車駐車場機能の確保を前提として、恒久的な使用方法が決定されるまでの間、駐輪施設の立体化等でオープンスペースを創出し、地域のために開放するなど有効活用してもらいたい。三鷹駅北口には、多くの人が集まるポテンシャルがあるものの、ゆとりあるオープンスペースがない。イベントにも活用可能な広場ができると地域活性化や防災性の向上等につながる。</p>
F構成員	<p>再開発前の中野駅の北口には、駅前に狭いバスターミナル、駅から少し離れた駐輪場があった。現在は、その駐輪場をバスターミナルとして整備している。三鷹駅においても、駐輪場をうまく活用してもらいたい。また、沿道の街並み誘導や低利用地のまちづくりを検討するにあたっては、官民が連携できると良いのではないかと。</p>
アドバイザー	<p>駅まち空間の中でも、前回までは公共用地、今回は民有地も含めた議論であった。</p> <p>コロナ禍でライフスタイルが変化していると言われていたが、実は以前から外出率が下がっていた実態がある。いろいろな人の居場所を作ることが重要ではないかと。また、居場所を三鷹駅北口にどのように作るかも重要である。民有地に作るパターンや、道路上に作るパターンもある。家だけではなく、外に出て、居場所があるというライフスタイルがあっても良いと思う。そういったものを図面等で示すことが重要ではないかと。</p> <p>既に建物があるため、街の風景はすぐには変わらない。池袋のグリーン大通りでは、街路樹が整備されているが、以前は沿道の一階が全て銀行であったため、午後3時以降はシャッター通りとなり、評判が良くなかった。この状況は良くないと思われ、地域の方が「一階部分を店舗にする」地区計画を作成した。そして、建て替えのタイミングで店舗が増えていった経緯がある。一斉に民有地の建物を建て替えることはできないが、少しずつ変えていくことはできる。何かルールを作っておくことが重要ではないかと。</p>

発言者	発言の要旨
	<p>三鷹駅では広域から自転車を利用する方が集まっている。もし、自転車が乱雑に置かれると街の印象が悪くなるため、駐輪場は一定数確保する必要がある。市有地をにぎわい空間として活用するには、駐輪場を立体的に整備することも考えられる。中央線や玉川上水など、駅周辺には様々な施設が存在するため、地下空間をネットワークとして利用することは難しいが、地上になくとも良い施設を民有地や公有地の地下に単独で設置する方法もあるのではないかと。</p> <p>補助幹線道路と中町新道との交差点については、2ロータリー化によって主要な車両動線が変わるため、交差点の改良は必要である。交差点の改良によって生まれた空地に芝生を植え、滞留空間を創出できると、良い景観が作り出せるのではないかと。</p>
<p>D構成員</p> <p>アドバイザー</p>	<p><b>4 報告書（素案）について</b> ～事務局より、資料2を説明し、その後意見交換～</p> <p><b>報告書（素案）について</b></p> <p>報告書にイメージの絵があると良い。三鷹駅北口がどのように変わっていかっているのか、絵で描いてもらえると事業への理解も進むと思う。</p> <p>報告書について、文章が多くイメージしにくい部分はあるが、これを基に今後、地域の方と協議しながら、駅まち空間を作り上げていくと良い。絵はもう少し追加した方が良いのではないかと。例えば、2ロータリー化において、人が滞留している絵を描いた方が、駅前が変わることを伝えやすいのではないかと。</p> <p>報告書により文章化されることで、不足している視点等に気付くことがあるため、意見を寄せてもらいたい。</p>
	<p><b>5 その他連絡事項</b> ～事務局より、連絡事項の説明及び挨拶を行い、閉会～</p> <p style="text-align: right;">以上</p>